



2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社アゴーラ ホスピタリティグループ

上場取引所 東

コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) ウィニー・チュウ・ウィン・クワン

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长

(氏名) 石井伸幸

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,937	22.3	65		69		28	
2023年12月期第1四半期	1,584	63.6	153		199		66	

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 60百万円 (%) 2023年12月期第1四半期 89百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	0.11	
2023年12月期第1四半期	0.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	19,963	6,049	17.3
2023年12月期	18,231	5,341	18.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 3,460百万円 2023年12月期 3,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		0.00	0.00
2024年12月期					
2024年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	17.8	20		50		30		0.12
通期	8,100	10.8	400		350		150		0.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	281,708,934 株	2023年12月期	281,708,934 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	27,764,683 株	2023年12月期	27,764,630 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	253,944,286 株	2023年12月期1Q	253,944,365 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期を上回る1,937百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。これは、2024年1月から3月までの訪日外国人数が、前年同期間に比べて大幅に増加した結果、宿泊事業における売上高は1,665百万円（前年同四半期比20.0%増）となった他、霊園事業および住宅等不動産開発事業等を行っているその他投資事業の売上高が271百万円（前年同四半期比38.3%増）となったことによります。結果、事業全体の連結売上高は352百万円増加したことにより、営業利益は65百万円（前年同四半期は営業損失153百万円）となりました。

また、営業外収益として保有していた上場有価証券を売却し有価証券売却益23百万円等の他、営業外費用として支払利息22百万円等を計上したことから、経常利益は69百万円（前年同四半期は経常損失199百万円）となりました。また、法人税等の他、非支配株主に帰属する当期純利益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は28百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

当第1四半期連結累計期間における宿泊事業部門におきましては、2024年1月から3月までの訪日外国人数が、8,558,100人と2019年同期間に比して78.6%増加したことから、すべての宿泊施設が期間を通じて売上高が増加いたしました。主要なホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺においては売上高631百万円（前年同四半期比19.8%増）、ホテル アゴーラ 大阪守口においては売上高354百万円（前年同四半期比147%増）、アゴーラプレイス東京浅草およびアゴーラ東京銀座を運営する株式会社アゴーラホテルマネジメント東京は211百万円から328百万円（前年同四半期比55.5%増）と117百万円増加したことなど、東京や大阪など訪日外国人が多く利用する地域に運営するホテルがある当社ではプラスの影響を受け業績は改善いたしました。

なお、前年同四半期において今井荘（静岡県賀茂郡）の売上高として66百万円計上しておりましたが、2023年3月に今井荘の不動産を売却したため、当第1四半期連結累計期間における今井荘の売上高の計上はありません。

次に、堺、守口のホテルにあるレストラン、宴会部門においては、主に地元企業および個人のご利用を頂いておりますが、人手不足によりレストランの閉店を余儀なくされ、需要に対応できない状況も生じており、稼働に合わせた適正な人員配置を行い事業の継続に努めております。これらの結果、宿泊事業部門全体では売上高1,665百万円（前年同四半期比20.0%増）となりました。また営業利益は79百万円（前年同四半期は営業損失99百万円）となりました。

② その他投資事業

マレーシアにおける霊園事業では、当第1四半期連結累計期間における、墓地区画の引き渡しが増加し売上高は49百万円増加し、215百万円（前年同四半期比29.6%増）となりました。証券投資事業においては、円安の影響もあり、主に香港証券市場に上場する株式・社債の評価益49百万円を計上するなどした結果、その他投資事業部門における売上高は271百万円（前年同四半期比38.3%増）となり、営業利益は81百万円（前年同四半期比213.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、19,963百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、5,869百万円となりました。これは、現金及び預金が612百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%増加し14,057百万円となりました。これは、有形固定資産が1,173百万円増加したことなどによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて11.1%減少し35百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.9%増加し、13,913百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.7%増加し、6,132百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が550百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、7,780百万円となりました。これは、長期借入金が598百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて707百万円増加し、6,049百万円となりました。これは、非支配株主持分が658百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期の業績予想に対し、概ね想定通りに推移しており、現時点で業績予想の修正はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831,779	3,443,844
売掛金	537,397	509,446
有価証券	288,302	333,719
貯蔵品	93,737	55,428
開発事業等支出金	1,283,421	1,318,289
その他	188,619	221,991
貸倒引当金	△20,156	△13,007
流動資産合計	5,203,101	5,869,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,392,047	3,324,802
車両運搬具(純額)	6,320	11,367
工具、器具及び備品(純額)	81,172	76,776
土地	5,510,992	5,510,992
建設仮勘定	2,208,627	3,448,599
有形固定資産合計	11,199,160	12,372,539
無形固定資産		
ソフトウェア	11,869	10,788
のれん	831,448	794,983
無形固定資産合計	843,318	805,771
投資その他の資産		
投資有価証券	240,543	172,817
長期貸付金	519,687	528,662
その他	185,712	178,061
投資その他の資産合計	945,944	879,541
固定資産合計	12,988,422	14,057,852
繰延資産	40,292	35,815
資産合計	18,231,816	19,963,379

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	263,159	192,558
短期借入金	60,312	63,417
1年内返済予定の長期借入金	1,007,228	1,557,317
未払金	3,337,197	3,357,150
未払費用	33,349	22,539
未払法人税等	53,953	17,897
賞与引当金	83,848	39,209
その他	855,538	882,538
流動負債合計	5,694,586	6,132,627
固定負債		
長期借入金	6,616,132	7,214,592
長期預り保証金	208,337	199,369
資産除去債務	46,000	46,000
繰延税金負債	10,596	—
その他	314,262	321,020
固定負債合計	7,195,329	7,780,982
負債合計	12,889,915	13,913,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,646,000	2,646,000
利益剰余金	△6,827,756	△6,799,129
自己株式	△1,033,540	△1,033,543
株主資本合計	3,319,110	3,347,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,011	—
為替換算調整勘定	67,869	113,061
その他の包括利益累計額合計	91,880	113,061
新株予約権	97,364	97,364
非支配株主持分	1,833,544	2,491,608
純資産合計	5,341,901	6,049,769
負債純資産合計	18,231,816	19,963,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,584,661	1,937,549
売上原価	1,242,630	1,346,017
売上総利益	342,030	591,532
販売費及び一般管理費	495,916	526,348
営業利益又は営業損失(△)	△153,885	65,183
営業外収益		
受取利息	2,753	3,045
為替差益	—	7,398
有価証券売却益	—	23,283
受取家賃	1,756	1,756
プリペイドカード失効益	201	280
その他	1,619	8,268
営業外収益合計	6,330	44,033
営業外費用		
支払利息	22,270	22,110
為替差損	2,294	—
資金調達費用	6,395	4,034
持分法による投資損失	5,149	6,305
開業費償却	4,476	4,476
その他	11,072	2,411
営業外費用合計	51,658	39,338
経常利益又は経常損失(△)	△199,214	69,877
特別利益		
固定資産売却益	128,941	—
特別利益合計	128,941	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△70,272	69,877
法人税、住民税及び事業税	19,414	27,026
法人税等調整額	△2,765	3,542
法人税等合計	16,649	30,569
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△86,921	39,307
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,222	10,680
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,698	28,627

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△86,921	39,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,436	△24,011
為替換算調整勘定	7,045	45,191
その他の包括利益合計	△2,391	21,180
四半期包括利益	△89,313	60,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,090	49,808
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,222	10,680

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,388,147	196,513	1,584,661	—	1,584,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,388,147	196,513	1,584,661	—	1,584,661
セグメント利益又は損失(△)	△99,642	25,959	△73,683	△80,202	△153,885

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△80,202千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,665,827	271,721	1,937,549	—	1,937,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,665,827	271,721	1,937,549	—	1,937,549
セグメント利益	79,775	81,308	161,083	△95,900	65,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△95,900千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、世界的な新型コロナウイルスの影響からの回復が鮮明となり、営業利益65百万円、経常利益69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円を計上しました。その一方で、新型コロナウイルスが蔓延し休業するなどした時期において生じた負債がまだ残存しております。また、その解消には一定の期間を要するものと考えられることから、当社グループの資金繰りに懸念が生じており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、2020年7月に当社グループが保有する賃貸不動産、2023年3月に当社が保有する固定資産を売却したほか、徹底した固定費の削減並びに金融機関からの運転資金の調達等により、当面の運転資金を確保しております。